

2級	1級
5. 組別総合原価計算の方法と記帳 6. 総合原価計算における完成品総合原価と期末仕掛品原価の計算 ア. 平均法 イ. (修正)先入先出法 7. 工程別総合原価計算 ア. 工程別総合原価計算の意義と目的 イ. 全原価要素工程別総合原価計算の方法と記帳(累加法)	純粋先入先出法 (非累加法) ウ. 加工費工程別総合原価計算の方法と記帳
8. 正常仕損費と正常減損費の処理 (度外視法)	(非度外視法) 9. 異常仕損費と異常減損費の処理 10. 副産物の処理と評価 11. 11. 連産品の計算
第十二 標準原価計算 1. 標準原価計算の意義と目的 2. 標準原価計算の方法と記帳 ア. パーシャル・プラン ウ. シングル・プラン 3. 標準原価差額の原因分析 4. 標準原価差額の会計処理 ア. 売上原価加減法	イ. 修正パーシャル・プラン エ. 減損と仕損 オ. 配合差異と歩留差異 イ. 営業外損益法 ウ. 補充率法 エ. 繰延法 5. 標準の改訂
第十三 原価・営業量・利益関係の分析 1. 損益分岐図表 2. 損益分岐分析の計算方法	3. CVPの感度分析 4. 多品種製品のCVP分析 5. 全部原価計算の損益分岐分析
第十四 原価予測の方法 1. 費目別精査法 2. 高低点法	3. スキャッター・チャート法 4. 回帰分析法
第十五 直接原価計算 1. 直接原価計算の意義と目的 2. 直接原価計算の方法と記帳 3. 固定費調整	4. 直接標準原価計算 5. 価格決定と直接原価計算 6. 直接原価計算とリニア・プログラミング 7. 事業部の業績測定
第十六 製品の受払い 1. 製品の受入れと記帳 2. 製品の販売と記帳	

2級	1級
第十七 営業費計算 1. 営業費の意義 2. 営業費の分類と記帳	3. 営業費の分析
第十八 工場会計の独立※	
	第十九 差額原価収益分析 1. 業務的意思決定の分析 2. 構造的意味決定の分析 ア. 資本予算の意義と分類 イ. 設備投資の意思決定モデル ウ. 設備投資のキャッシュ・フロー予測 エ. 資本コストと資本配分
	第二十 戦略の策定と遂行のための原価計算 1. ライフサイクル・コストニング 2. 品質原価計算 3. 原価企画・原価維持・原価改善 4. 活動基準原価計算

(注)	1.	会計基準および法令は、毎年度4月1日現在施行されているものに準拠する。
	2.	会社法・会社計算規則や各種会計基準の改正・改定等により、一部の用語などが変更される可能性がある。
	3.	特に明示がないかぎり、同一の項目または範囲については、級の上昇に応じて程度も高くなるものとする。点線は上級に属する関連項目または範囲を特に示したものである。
	4.	※印は本来的にはそれが表示されている級よりも上級に属する項目または範囲とするが、当該下級においても簡易な内容のものを出题する趣旨の項目または範囲であることを示す。